

経営方針
2026年度

「イノベーションを核に、稼ぎ力を加速する2026」

中期経営計画「Mission G-final」をスタートさせ、安定と成長を両立するグループ企業へ



当社代表取締役社長兼COO

荒賀 誠

日東精工グループは2019年に長期ビジョンとして「世界中で認められ、求められる『モノづくりソリューショングループ』を目指す」を掲げています。そして同時に戦略として中期経営計画も立て、2022年までの4年間を1stステージ「NITTO SEIKO Mission “G”」(Gの意味するものはGroup Global Growth)、2023年から2025年までの3年間を2ndステージ「Mission G-second」とし、それらを推進し、付加価値の向上や意識改革にも取り組んでまいりました。

たとえばファスナー事業分野では2022年にケーモ精工が日東精工グループに加わり、もともと得意とする精密ねじ、極小ねじだけでなく、いわゆる太物までラインアップを充実。制御システム事業分野では、2020年に三菱ケミカルから全株式を取得し、新しく生まれた日東精工アナリティックが事業活動に大きなシナジーを生み出しています。産機事業分野では安川電機やユニバーサルロボット社、ファンックなどとねじ締めロボットで協働、販路を拡大。また新たにメディカル事業も立ち上げ、2021年に世界発の特許技術「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」を発表。いわゆる「医療用溶けるねじ」の開発が期待されています。

これらはほんの一例ですが、各事業分野は成長し、技術力を高め、着実に事業領域を広げています。日本国内だけでな

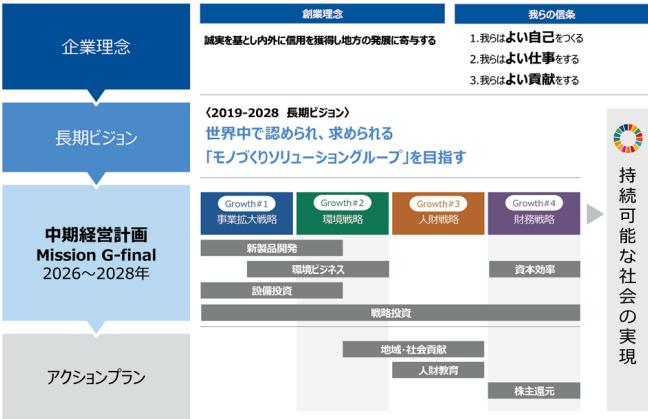
く、2023年にはヨーロッパ(ドイツ)、2025年にはインドに新たな拠点を設けるなど、グローバル展開も加速させています。

そして、本年より2028年までの、中期経営計画「Mission G-final」をスタートさせました。本年の経営方針は「イノベーションを核に、稼ぎ力を加速する2026」。

グループ横断のイノベーションを基盤とし、市場変化にも柔軟に対応する組織運営、ESG(環境・社会・ガバナンス)推進を進め、安定と成長を両立する新たなグループ像をつくってまいります。初年度を改革の年と位置づけ、2026年度以降の収益力強化と資本効率の改善を確実に進め、4つの成長戦略とともに営業利益60億円(2028年)の目標達成を目指します。

経営の基本方針について

NITTOSEIKO



今年の干支は午(うま)、馬のような躍動力強さを象徴する年に



Mission
G-final

『Mission G-final』をスタート

中期経営計画「Mission G-final」ではこれまでの中期経営計画で進めてきた4つの成長戦略(事業拡大・環境・人財・財務)を継承し、さらに深化させていきます。

収益性の徹底追求

「Mission G-final」では最終年度である2028年にグループの営業利益を60億円を設定し、それをゴールとして達成するため4つの戦略を掲げ、KPI*を設定して実施。これまでの中期経営計画では、売上高と営業利益を目標としていましたが、「Mission G-final」では営業利益を最上位の目標とし、売上高を含め4つの戦略すべてが収益力の源となるよう推進。短期の利益確保と中長期の成長投資を両立させ、株主価値と社会価値の双方の最大化を目指していきます。

4つの成長戦略

前中期経営計画より4つの成長戦略を継承・深化させ、イノベーションを基盤に営業利益、60億円(2028年度)の目標達成を目指す。

事業拡大戦略



重点取組

1. コア・コンピタンスを活かした事業別成長戦略
2. お客さま価値を最優先にしたソリューション創出
3. グループ全体の最適化と未来志向の投資戦略

市場拡大

グロースターゲット

Growth #1

環境戦略



重点取組

1. 事業活動全てにおける環境への対応
2. ステークホルダー支援と社会課題の解決
3. 経営改善につながるガバナンス体制の強化

環境・社会対応製品

廃棄量の削減

Growth #2

人財戦略



重点取組

1. 稼ぎ力を生み出す「働きがい」改革の実行
2. 生産性の向上につながる「働きやすさ」の環境構築
3. キャリアの可視化と学びの充実による課題解決プロ集団の育成

労働生産性

人財力強化

Growth #3

財務戦略



重点取組

1. 投資計画の策定と効果試算、評価の実施
2. グループ再編による経営資源の効率化
3. PBRの改善と株主還元の充実

戦略的投資

基本コストの削減

Growth #4

*「KPI」はKey Performance Indicatorの略で「重要業績評価指標」。最終目標である「KGI」Key Goal Indicator : 重要目標達成指標を達成するための中間指標。KGIが「最終的に何をどれくらい達成するか」というゴールを示すのに対し、KPIはそのゴールに至るまでの「プロセス」の達成度を示すもの



より詳しい内容は
こちらQRコードから
読み取りください

インド子会社のバルカン社グループに ジャジャール新工場が完成

インドの当社連結子会社バルカン社グループに新工場が完成。2025年12月より生産を開始しています。インドでは自動車（二輪・四輪）市場が拡大しており、それに伴う増産、あるいは生產品目拡大という需要がありますが、喫緊のニーズに対し、より細やかな対応ができるようになりました。

新工場では、5Sを軸とした生産体制の徹底、顧客接点の強化を推進し、品質・納期・コストの総合最適化を図り、日東精工グループとの一体運営のもと、現地生産力の強化と安定供給の実現を目指します。新工場は、インドにおける日東精工グループとしての成長を見据え、将来の増産計画のために増床できる構造としています。

ジャジャール工場が立地するリライアンスマエットシティ工業団地は、工業団地を中心としたスマートシティ構想で造成され、大きな注目を集めています。すでに大手日系企業が多数工場建設を発表している。



市だけでなく、町内のイベント 「井倉町イルミネーション2025」にも協賛

東証プライム企業のほとんどが本社を東京や大阪などの大都市におこなっており、当社は創業の地あやべから本社を移すことはありません。会社創立の目的が地元の雇用創出であり、社は「我らの信条」にも地域貢献を明記しているからです。日東精工アリーナ（市民センター）など地元のネーミングライツに協力し、「あやべ水源の里トレイルラン」をはじめとする、さまざまなイベントにも協賛・協力しています。

昨年12月20日には「井倉町イルミネーション2025」の点灯式が行われ、当社代表取締役をはじめ、たくさんの従業員が多数出席しました。綾部市や綾部商工会議所ではなく、町内会で主催されたものですが、点灯式には約300人が訪れて賑わいました。



当社のインスタグラムでもイベントを情報発信

「受験生応援ゆるみ止めねじ」を 綾部高校に直接お届けしました

当社の樹脂用ゆるみ止めねじ「ギザタイト」を特別加工し、ゆるまない=集中力持続・実力発揮のシンボルとして受験生にプレゼントするキャンペーン。今年度も3回に分けて募集し、これまでにたくさんの方にご応募いただきました（第2回受付終了時点で4104個を配布しています）。

個人でご応募いただけでなく、学校やクラス、グループ単位でのお申し込みも多数あり、この場合はまとめて郵送させていただくケースが多いのですが、日東精工が本社をおく綾部市や近郊の学校には当社従業員が直接お届けし、Face to faceでねじの魅力や日東精工の魅力も併せてお伝えしています。1月14日には当社経営戦略本部の4名が綾部高校に足を運び、3年生254人に贈呈しました。



当社マスコットキャラの「ねじつとくん」とともに「ゆるみ止めねじ」をプレゼント

当社の誇るべき人財教育を 改めてご紹介します

昇格・昇級するために各種試験を設けている企業はたくさんありますが、他からユニークだと評価されるのが「教育単位制度」です。たとえば地域ボランティアに参加したとか、キャリアアップのために国家資格を取得したとか、ふだんの業務以外の貢献をポイント（単位）化し、規定単位を取得しないと、いくら〈仕事〉ができても昇格試験を受けられない仕組みになっています。このことで視野の広いバランス感覚のとれた人財を育てていこうというものです。もちろん、各階層ごと、職種ごとの研修も常に見直し、時代に即したものを取り入れるようにしています。



上は昨年12月に開催されたバリューアッププロジェクト成果発表会、下は管理監督者研修会（1月10日）

千変万化

代表取締役社長 荒賀、誠

小 泉八雲とその妻・セツをモデルにした朝ドラ『ばけばけ』の評判がいいようです。八雲は「耳なし芳一」「雪女」「のつべらぼう」など口承の説話、怪談を記録・翻訳し世に広めた人物なので、タイトル『ばけばけ』は「おばけ」から来てるものだと思っていたら「化け」の意味だそう。幕末から明治にかけて西洋化の波が押し寄せ価値観が急速に変化するなかで、時代に取り残されそうになつた人々の思いや経験した変化が、やがて素晴らしいものに化けていく成長の物語。

そして「化ける」といえば、当社も、時代の変化に順応し成長してきた歴史があります。創業当初はファ

スナー（ねじ）ではなく、水道メータや自社ブランドのカメラも製造。モノづくりで社会に貢献ということは変わらないものの、常に進取の精神をもつてチャレンジしてきたのです。



あまり注目されていなかつた人・

期待されていなかつた人が、ひとつきつかけで大きく「化ける」ということがあります。自分はこれをやりたいという思いも大事ですが、案外、自分のことはわからぬまま自分で「化け」をつくつていることもあります。いろいろアンテナを張り巡らなければ、チャンジ精神をもつて個人も会社も進化、深化、新化し、「ばけ（化け）て」いきましょう。

※千変万化（せんへんばんか）さまざまに変化すること。日東精工は本年2月11日に創立89周年を迎えることができました。
これからも挑戦を恐れず変化・成長し続けてまいります

「幸せ」を見つけるヒント —— 2月

似て非なるもの

綾部市の広報誌に山崎善也市長が「善聞語録」というコラムを毎月連載されていて、先日は「似て非なるもの」というテーマで、サッカーとフットサル、自由とわがまま、慎重と臆病などの違いを解説しながら、最後に首長（市長）職の大変さを語っていました（この原稿は1月の初旬に記していますが、山崎市長は4期16年、市長として活躍され、1月末の任期満了に伴い引退されるわけで、綾部市のために身を粉にして尽くされたことに心より感謝。と同じ

時に190回続いた「善聞語録」の終了を寂しく思います。本当にお疲れさまでした）。

俳句の世界の〈本歌取り〉ではありませんが、このコラムでも、似て非なるもの・字が似ているけれど、じつは正反対なものを挙げてみましょう。まず思いつくのは「怒」と「恕」、そして「辛」と「幸」。今の世の中、腹立たしいこと、「怒り」たくなることが少なくありませんが、「恕（ゆるす・おもいやり）」を忘れないように。そして「辛い」ことに一つ、支えが加われば「幸」となります。幸せのための一（支え）になるため、精進していきたいと思っています。

日東精工代表取締役会長
綾部商工会議所会頭 材木正己

